

呼吸不全



洛和会音羽病院

呼吸器内科部長

土谷美知子 氏

採血で体内の酸素濃度知ろう

Q 呼吸不全とは。
 A 呼吸機能の低下によって十分な酸素を臓器に送れなくなった状態のことをいいます。正常な人の場合、動脈血内の酸素分圧は80〜100torrですが、60torr以下になると、呼吸不全と定義されています。さらに、酸素を吸引する際に炭酸ガスを吐き出す量が45torr未満を1型、それ以上に蓄積してしまつた状態を2型呼吸不全と分類しています。また、慢性呼吸不全は長期化しますが、急性呼吸不全の場合は1カ月以内に症状が現れます。

支炎など、たばこが原因によるものです。また、間質性肺炎、肺がんを含めた肺腫瘍が原因となる呼吸不全も増加傾向です。急性に症状が悪化する恐れのある急性呼吸不全の原因としては、肺炎や敗血症、多発性外傷、熱傷などがあります。

中を調べるのが確実です。最近では、サチュレーションモニターを指先などにつけて血の色を測定する簡単な方法もあります。これは血液検査の代用として使われます。ただし、二酸化炭素や炭酸ガスなどは測定できませんので、詳しく調べ

Q 原因は。
 A 外来で治療に当たります。

Q 検査法は。
 A 酸素濃度を調べるには、採血して体内の血

Q 原因は。
 A 外来で治療に当たります。

Q 検査法は。
 A 酸素濃度を調べるには、採血して体内の血

Q 原因は。
 A 外来で治療に当たります。

Q 検査法は。
 A 酸素濃度を調べるには、採血して体内の血

防について。
 A 原因がCOPDの場合には禁煙が第一です。たばこ以外にも粉じんやアスベストなどにも注意が必要です。近年、職種も多様化しており、思いがけないものが長年にわたって肺に沈着して肺機能を低下させることもあります。明らかに異常な低酸素血症に至る前に、呼吸や脈などに普段と違う症状が出たら、早めに専門外来に受診することをお勧めします。